

ひかり協会会報

ふれあい

発行

公益財団法人 ひかり協会
 ☎530-0022 大阪市北区浪花町13-38
 千代田ビル北館2F
 ☎代表06(6371)5304
 URL <http://www.hikari-k.or.jp>
 発行責任者 理事長 前野 直道
 編集責任者 常務理事 塩田 隆

ひかり協会と私

広島
 坊田
 忍

クリーニングの仕事は 45年目です

高校を卒業して6年間、和裁専門学校に通いました。25歳の時に障害者職業センターの紹介で隣のクリーニング工場に就職して、自宅から毎日バスで通勤しました。

58歳の時にクリーニング工場と同じ場所に清風会海田工場（就労継続支援B型）ができたため、そちらに就職しました。父が亡くなり、母が施設に入所して一人暮らしになってから、ひかり協会の職員さんと相談して、ヘルパーさんに来てもらって一緒に掃除したり、将来は同じ法人内の清風会の施設に入所したいことなど話

をしたりしていました。

64歳の時に「清風会サンブリエ」に入所し、丸5年経ちました。サンブリエは安芸高田市という、広島市内からJRとバスで2時間くらいの山あいの町にあります。クリーニング工場と寮が隣りにあって、今は一人部屋で生活しています。食事は準備してもらえますが、掃除と洗濯は自分でしています。

クリーニングの仕事は25歳から続けていて、45年目になりました。今の仕事は病院やホテルのピロウ（枕カバー）のクリーニングです。大きな機械で洗っ

第188号の記事

| | |
|--------------------------------|-----|
| 2024年度事業計画・予算のお知らせ | 3 |
| 「これからの私」解説と活用法 | 4・5 |
| 全国担当係長会議／西から東から | 6 |
| 新・健康づくりIX(第3回) | 7 |
| 守る会からのお知らせ／三者会談推進委員会の報告／寄附金のお礼 | 8 |

たピローが上から落ちてくるので、それを別の台車に移して1枚ずつ広げます。それを他の仲間がロールの機械に通します。膝が痛かったり、手が荒れてクリームを塗ったりしますが、仕事は楽しく休むことなく頑張っています。

ひかり協会の症状別課題別懇談会である「健康タイム」にも参加していました。サンブリエからは少し遠いのでお休みしていました。昨年からは広島市内に行っても良いことになり、

また「健康タイム」に参加しています。保健師さんに血圧を測ってもらったり、栄養士さんから栄養の話の聞いたり、歯科衛生士さんに歯

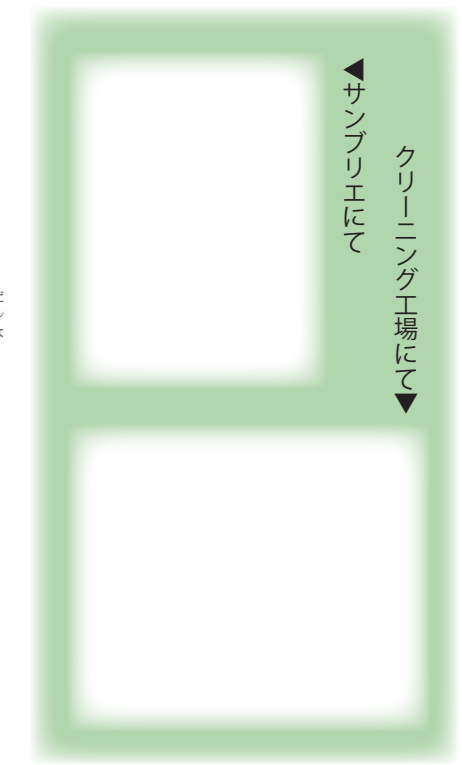
磨きチェックをしてもらっています。この写真は、相談員さんが作ってくれた、紙バックを四角に切ったものを積み上げるゲームをしているところです。年1回は行政の保健師さんが来てくださって、検診結果について気をつけることを教えてもらっています。

今回は、ミルクティやお菓子を食わずぎるのは良いので、どちらか一つ、ミルクティを飲む日はお菓子をごまんする、という話をしました。

2018年には兄とひかり協会の職員さんと相談して、成年後見人が弁護士さん

に決まりました。毎週のお小遣い以外で買いたい物があつたら、支援員さんから連絡してもらって許可をもらってから買っています。去年夏には京都のいところ

クリーニング工場にて
サンブリエにて



をしました。いとこの旦那さんが懐かしい写真をアルバムにして送ってくれて、大切にしています。母に続いて兄も病気で亡くなりましたが、いとこがたくさんいて、電話でいっぱい話をしています。

12月には守る会の協力員さんがふれあい活動で会いに来てくれました。ふれあい活動は初めてで少し恥ずかしかったですが、仕事の話も聞いてもらって楽しかったです。来年また会えるのがとても楽しみです。

3月にはサンブリエのみんなで四国にバス2台で行

きました。レオマワールドではジェットコースターに乗って、ちよつと怖かったけど楽しかったです。ゴールドタワーでは金魚のアクアリウムを見ました。金毘羅さんの近くの旅館に泊まってカラオケをみんな

歌って盛り上がりました。私は「瀬戸の花嫁」を歌いました。昼食は讃岐うどん

で、夕食にもうどんが付いていました。美味しい料理をたくさん食べました。コロナで行けてなかった年

1回の旅行が再開したので、来年も楽しみに仕事を頑張っています。

ききました。レオマワールドではジェットコースターに乗って、ちよつと怖かったけど楽しかったです。ゴールドタワーでは金魚のアクアリウムを見ました。金毘羅さんの近くの旅館に泊まってカラオケをみんな

事務所より

坊田さんは、初対面の時は恥ずかしくて口数が減ることがありますが、おしゃべりが大好きで明るい方です。今回の旅行の話も楽しさが伝わってきて、聞いている私たちまでワクワクしました。

大雨や地震の時などは、「そつちは大丈夫?」と心配して事務所に電話をかけてくれます。坊田さんの声を聞くと逆に「坊田さんも大丈夫なんです。ね」とこちらも安心します。

仕事の仲間や支援員さんと一緒に、これからも坊田さんが元気で仕事を続けて楽しく生活できるように、守る会のみなさんといっしょに応援していきたいと思

います。

「健康タイム」にて

2024年度 事業計画・ 予算のお知らせ

ひかり協会は2021年度より、第三次10カ年計画（期間は2030年度まで）に基づき、被傷者救済事業を実施しています。2024年度は、「40歳以降の被傷者救済事業のあり方」に基づき、「すべての被傷者が健康の主体者として自主的健康管理の向上が図れるようにすること」（自主的健康管理の援助）と、「障害のある被傷者の生活設計実現を援助すること」（生活設計実現の援助）という2つの重点事業の達成をめざす第三次10カ年計画の前期4年度の事業・運営に取り組みます。

自主的健康管理の援助

すべての被傷者の自主的健康管理の取組では、ひかり協会健康事業を活用し、特定健康診査等の健診やがん検診の受診を促進します。

協会では、自主的健康管理の取組を促進させるため、守る会に協力を求め、全国で700名を超える被傷者を救済事業協力員に委嘱し、「呼びかけ」活動などの連帯して健康を守る活動を推進します。

生活設計実現の援助

障害のある被傷者の生活設計実現の取組では、介護保険制度に基づく事業や、成年後見制度、日常生活自立支援事業の活用促進を援助します。

また、障害者総合支援法や介護保険制度などの公的制度活用に伴う利用料負担を援助する後見・介護の事業を引き続き実施します。障害症状の重度化に伴う「生活の場」の確保について、

では、厚生労働省発出の事務連絡「施設入所等の取組に対する協力について（依頼）」を活用して個別に対応するなど、行政協力を得て積極的に取り組めます。知的・精神障害の対象者に対する生活習慣病対策や、肢体障害のある被傷者への二次障害の予防・進行防止も重視して取り組みます。これらの重点事業については、厚生労働省・守る会・森永乳業とひかり協会

による「三者会談」で、取組の促進を協議します。

「終生にわたる事業と運営・体制の構想」(案)

2024年度は、2023年度に係者により討議された「終生にわたる事業と運営・体制の構想」(案)に対する守る会等の意見を踏まえた、修正版「構想」(案)を作成して、引き続き検討を行います。

対策対象者名簿への 名前登録の取組

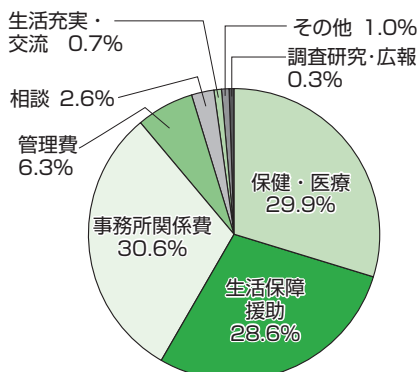
厚生労働省通知に基づき都道府県に提出している障害のある被傷者の名簿に加え、障害のある被傷者以外に提出し、市区町村にその写しが交付されています。

名簿の登録により、市区町村窓口での相談などを通じて、公的制度の活用促進が図れることとなります。

名簿登録を希望される方は、個人情報取扱の同意書の提出が必要となりますので、最寄りの地区センター事務所に連絡し、手続きを行ってください。

2024年度予算（支出）

| 予算項目 | 予算内容 | 予算額 (万円) | 割合 (%) |
|------------|--------------------------|-------------|-----------|
| 相談 | 協力員・相談員の活動費用など | 4,478 | 2.6 |
| 保健・医療 | 医療費・検診費など | 51,629 | 29.9 |
| 生活の保障・援助 | ひかり手当、後見・介護費など | 49,297 | 28.6 |
| 生活充実・交流 | 生活充実助成金・交流会費など | 1,197 | 0.7 |
| 調査研究・認定・広報 | 会報「ふれあい」の発行費用など | 528 | 0.3 |
| 現地事務所関係費 | 現地の事務所室料・会議費・交通費・給料手当など | 52,669 | 30.6 |
| 管理費 | 本部の事務所室料・会議費・交通費・報酬・給料など | 10,884 | 6.3 |
| その他 | 予備費など | 1,758 | 1.0 |
| 合計 | | 172,440 | 100.0 |

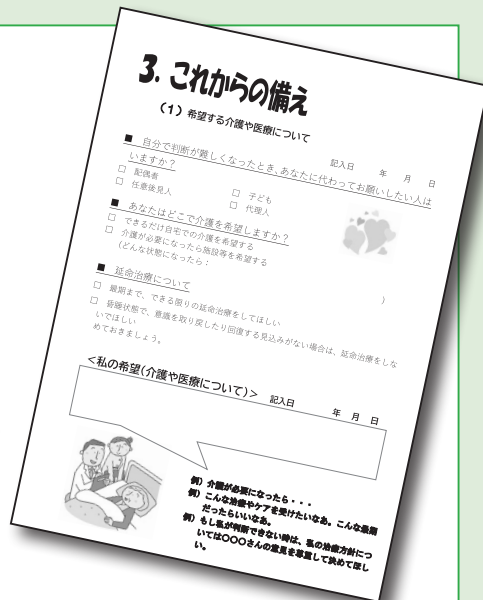


3. これからの備え (13~16ページ)

急な病気や入院、自然災害の発生などいざという時のために、家族や周囲の信頼する人とともに備えをしておくことが大切です。あなたの希望する介護や医療について記入するページを作成しました。



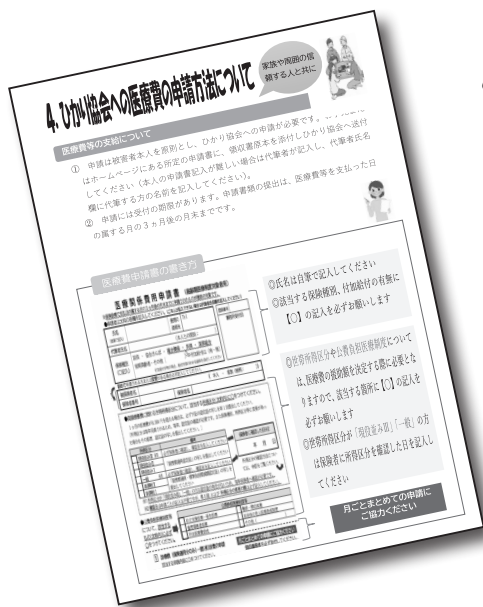
家族や周囲の信頼する人と話し合って、あなたの希望する介護や医療についての考えを伝えておくのも大事やで！



4. ひかり協会への医療費の申請方法について (17~18ページ)

今後、急な体調の変化や入院により、ご自身で医療費の申請をすることが難しくなることも考えられます。

医療費の申請方法を説明したページを作成しました。



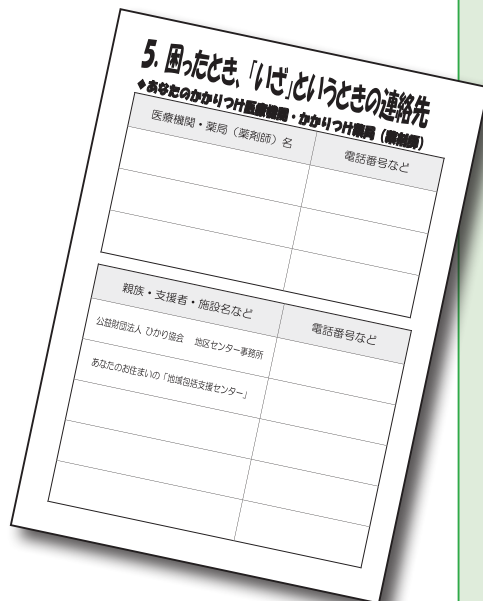
家族や周囲の信頼する人と、ひかり協会への医療費の申請方法について話し合っておいてね！



5. 困ったとき、「いざ」というときの連絡先 (最終19ページ)

最後に困ったとき、「いざ」というときの連絡先を記入するページを作成しました。

ご自身で連絡することができなくなったときに備えて、家族や周囲の信頼する人が分かるように記入しておきましょう！



健康懇で一緒に記入したり、協力員さんと話題交流したりするといいかもしれんのお



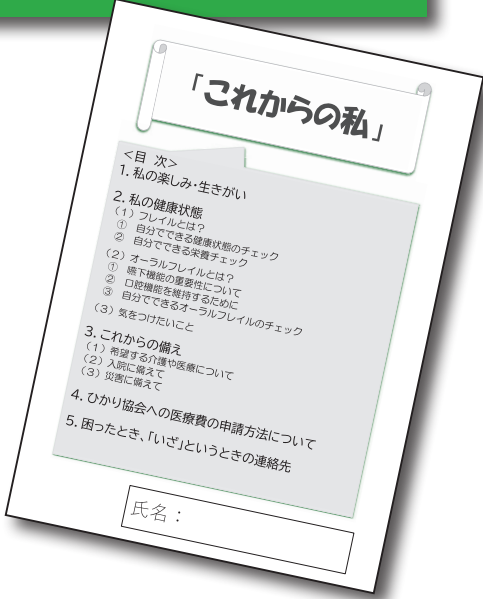
「これからの私」に記入したり、話し合ったりしてみてください～！

「これからの私」 解説と活用法

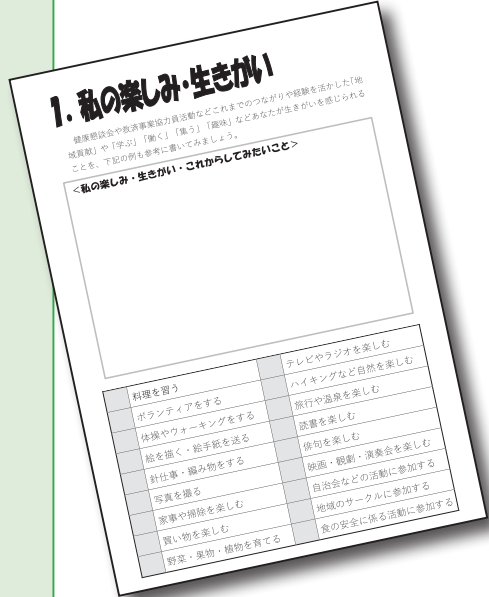


今後の暮らしや健康を考えるきっかけとして「私の健康設計 (60歳代)」に替わる新たなツール「これからの私」ができたんじゃ。ポイントを説明してみよう！

興味のあるところから開いてみてね！



1. 私の楽しみ・生きがい (1ページ)



日々の生活に楽しみを見つけ、地域の人とつながりを持つことはとても大切なことです。

楽しみや生きがいを記入するページを作成しました。



あなたの楽しみや生きがい、ワクワクすることについて考えてみてくださいね！

2. 私の健康状態 (2~12ページ)

あなたの楽しみや生きがいを大切に暮らすためには、日頃から体調に気をつけ、いつもとの違いに早めに気がつくことが重要になります。自分でできるチェック表のページを作成しました。

誕生日や記念日などに体調に変化がないか確認してみてください！



2023年度 森永ミルク中毒事件全国担当係長会議 (報告)

森永ミルク中毒事件全国担当係長会議が、今年度もオンラインにより開催されました。この会議は、厚生労働省が全国の自治体の窓口課の担当者に向けて、事件とひかり協会が行う救済事業の概要、行政としての協力などについて周知するために開催されています。

まず、2月1日に限定公開のYouTubeで動画が配信されました。最初に厚生労働省窓口課の岡部課長から挨拶があり、その後、事件の概略と救済事業への協力について説明がありました。続いて、ひかり協会から前野理事長による挨拶及び2022年度の取組結果と行政協力を求める事項の説明を行いました。

次に自治体から2件の対応事例が報告されました。はじめは奈良県の報告で、「手術とりハビリを受け退院後、症状悪化がみられたので病院でのリハビリを希望したが、主治医からは介護保険のリハビリを受ける

よう勧められた。しかし、介護認定の結果は非該当となった。そこでひかり協会に相談し、『森永ひ素ミルク中毒被害者対策対象者名簿』に登録していたので、行政協力を求めるため『要請内容』を県に提出した。県窓口課から対応依頼を保健所が受け、ひかり協会に状況確認するとともに、該当市町にも行政協力などの説明を行った。その後、相談窓口となる該当市町の保健センターにつなげ、被害者が納得いく対策が選択で

きるよう対応された」という事例でした。

次の愛媛県の報告ですが、「呼びかけ」活動を行った救済事業協力員からひかり協会に支援を要する方々ではないかとの連絡があり、ひかり協会は本人と相談して、『森永ひ素ミルク中毒被害者対策対象者名簿』及び『要請内容』を県窓口課に提出した。保健所のひかり協会の事業への理解が進んでいたことから、県窓口課、保健所、該当市窓口課、地域包括支援センターなどの連携がスムーズに行われ、対応が迅速に行われた」という事例でした。

また、後日オンラインでグループ討議が実施され、86自治体が16グループに分かれ、事例報告を踏まえて窓口課として、「他部署の担当者やひかり協会、国との協力関係を構築したうえで、どのように行政協力を進めるべきか」について討論が活発に行われました。

西から 東から

▼宮野先生のお話に共感することが多々あり、同世代で同時に生きていくことを実感します。(大阪 M)

▼老いについては、人それぞれであり、決してマネをすることもないし、その通りにはならないものだということ。(匿名)

▼3年前にがんを診断されました。健康に気を使っていたのになぜ？と信じられず落ち込みました。今は運動と食事に気をつけながら過ごしています。あまり悩まず、前向きに！(和歌山 Y)

▼完治しない病気をもっています。病気の気持ちに負けず、体を動かし、日々挑戦しています。(香川 M)

▼私も色々な病気をもっています。私ですが、「いのちを紡ぐ」を読んで、勇氣と元気をもらいました。(徳島 Y)

▼「風に吹かれて」を読んだので、「楽しく元気に過ごそうように努力しなくては…」と希望を感じました。(愛媛 M)

▶動画で会議に参加する
前野理事長

シリーズ

新・健康づくり区 〈第3回〉

救済事業専門委員 宮野栄三
医師

老いを生きて いく事(続)



【街も人も、時とともに消えてゆき、移ろいゆく。でも、年を重ねるといのは、抱きしめるものが、一杯あるという事である。寂しさと豊かさの両方を】(江國香織)

老いを生きていく事のテーマで、今回で3回目です。これまでの内容は、ずいぶん抽象的であったと思います。シン老人論とか老いへの覚悟とか不安源泉の老いの生き方の窮屈さとかについて、述べてきたように思います。役立つ事を書けたようには思えません。まして、要請されていた精神科医視点からの文章になっっていない気がします。そこで、弁解をしつつ、その内容から老生論につながるように読み取っていただければ幸いです。

実は、超個人的な見解ですが、精神科医つてのは厄介なものです。昔、私が精神科医になるように要請された時、逡巡したのを思いだします。心のスペシャリストで心のことはよく解っている人種だと思うので、自分には絶対無理だと感じていました。今、考えると、幻想と錯覚でありました。逆説的に言うくと、精神科医はものわかりの優れた人ではないのでしょうか。むしろ、解らないことが多いから、解ろうとしていく人種なんだと思っと思っています。この不可知の知の態度こそ、最も大切な素養なのです。昨今の流行で言えば、不確かさへの耐性とかネガティブペーパーパビリティという事なのでしょう。解りがたいし解らないから、解っていかうとする営みがうまれ、患者さんなど他者との協働のプロセスや対話が進んでいくものなのでしょう。カリスマはインスタントな回答をもたらしますが、いずれその力は失せていきます。「一杯本を書いている売れっ子精神科医には気を付けたほうが良い」と、よく先輩から教え

られました。最近の老いの生き方の出版ブームは、それだけのニーズの大きさに応えた反映なのでしょうが、早わかりには警戒しておいた方が良いでしょう。(精神科医論を老生論に置き換えてみて、読み解いてみてください)

さて、やはり、解らないことを前提にしつつ、老いを生きる事の知恵づくりができればと思います。この時代のもつて、従来の老生論を超えていくような「シン老生論」を、老年新参者の私達が創っていければと思います。各々の実践や発想を持ち寄り、多様性がありつつ、どこか共通の基盤のあるようなものを...

【今日の発想：身体・運動面でのフレイルにヒントを得て、心のフレイルという事を考えたらどうか】

心の老いに連れて、動き悪くなり、その影響という発想。「頑固さ・凝り固ま

り・興味関心の偏り・執・古き事へ固執・ぼんやり・共感力や想像力の低下・人の話を聞けないなど」が、連想されます。心が硬直化していき、人とのつながりや情緒応答力が衰え、老年時代の豊穣する姿が遠のいていく。そう、

こころは運動体なのです。心が固まらずに運動しているあり様が、老いがより豊かになるうえで大切なのでしよう。心の運動とは何か。「感動力・好奇心力・広い視野と学ぶ意欲・色恋・遊びや発想力・時をつなげるナラティブ力・関与と情緒の柔軟力・愉しみ悲しみ寂しさを感じる力・苦勞と悩む力・理不尽さに怒る力」などなど。

こころの運動という事を大いに意識し、工夫の喜びや苦勞を我がこととした人生を歩む事、そこから老いの豊かさや実りが生じるのかもしれない。

「守る会」ホームページは
こちらから click!!

森永mhhm

検索

守る会からのお知らせ

修正版「構想」(案)に 対する積極的な検討を!

で検討されている「終生にわたる事業と運営・体制の構想」(案)(以下、「構想」(案))では、2040年頃を目途に守る会が解散して以降は、守る会及び被害者の出席がない「三者会談」や本部二者懇談会などが提案されています。

被害者意見の尊重

「構想」(案)では、「公益財団法人ひかり協会については、すべての被害者が亡くなり恒久救済が完遂するまで存続する」としています。しかし、守る会の解散に伴い守る会の組織的協力がなくなり、守る会の意見・要望が事業に反映することも終了することとなり

ます。

「構想」(案)に対する守る会や地域救済対策委員会等の検討のなかでは、「守る会解散後も被害者の「三者会談」への出席や被害者意見の救済事業への反映はできる限り継続し、重視する必要があるのではないか」との意見がありました。

これらの意見について、守る会全国本部の会議で協議し、今後は各都府県本部でも積極的に検討していくことを合意しました。

修正版「構想」(案)の検討

本年5月開催予定のひかり協会理事会では、守る会など関係者の「構想」(案)に対する中間意見を踏まえ、修正版「構想」(案)が決定される予定です。

守る会としても、修正版「構想」(案)に対する検討を行い、今年の12月に最終意見集約を行いますので、引き続き被害者のみなさんの理解と協力をお願いします。

寄附金のお礼

井上 誠様の御遺族から、協会事業に役立ててほしいと、寄附の申し出がありました。当協会は、これをありがたく受領し、寄附の趣旨を踏まえ、公益目的事業に活用させていただきます。心から御礼申し上げます。

記

〈寄附額〉 五〇,〇〇〇円

第188回

「三者会談」救済対策 推進委員会

第三次10ヵ年計画に 基づく行政協力の 促進等を協議

3月1日に、厚生労働省・守る会・森永乳業・ひかり協会が集い、対面で重要課題について協議しました。

守る会からの要望

○重度障害者は、マイナバーカードではなく、現行の健康保険証を継続して利用できるよう要望
↓マイナ保険証への移行に当たっては、2024年12月以降も最大1年間は現行の保険証の使用を可能とする経過措置を設けている。
また、マイナ保険証を保有していない方については、申請によらず資格確認書を発行する。

○森永ミルク中毒事件全国担当係長会議の充実を要望
↓グループ討論については、昨年とほぼ同程度の自治体が参加。アンケートでの意見としては「集合形式と遜色ない意見交換ができた」という意見が多かった。

○生活課題を抱えて孤立した被害者に対する相談について、都道府県・市町村窓口課による関係部局及び関係機関と連携した適切な相談対応が行われるように、厚労省通知(または事務連絡)を发出するよう要望

↓被害者の場合には、ひかり協会における支援の内容を踏まえた対応が必要である。都道府県や市町村の窓口課が、介護保険担当課や地域包括支援センター・居宅介護支援事業者等の関係機関と連携して適切な対応をすることが重要であることは、老健局とも共有している。要望の趣旨は理解したので、どういった形で誰宛に伝えたらよいかも検討して、効果のある通知にしたい。

ひかり協会からの要請